



<https://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

令和8年4月



阿蘇市でアスパラガスを栽培する山本海登さんと一燈榮(いとば)くん(右)松田優也さん(本誌12ページで紹介)

■今号20ページ 主な内容

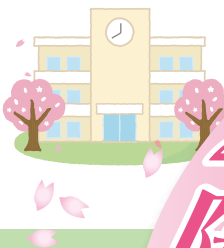
- JA阿蘇ブランド推進協議会設立
- 県農業コンクール大会・県野菜振興大会表彰式
- 青壮年部JA上川地区青年部とディスカッション
- UAEからJA阿蘇のイチゴ栽培を視察
- 女性部 外国人技能実習生らと研修会
- 生産各部会の生育・出荷・イベントなどの動き
- JA阿蘇職員異動のお知らせ
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント! etc.

今号も話題と情報を満載!!

Instagram



ホームページ



2026
陽春

VOL. 146



● JA 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

『JA阿蘇ブランド推進協議会』設立



生産者の所得向上、担い手の確保・育成、阿蘇農業の持続的発展と地域活性化をさらに推し進める

『阿蘇ブランド』の確立と浸透で選ばれ続ける産地を築く



設立総会で挨拶をする
原山組合長

JA阿蘇は3月23日、地域農畜産物の価値向上と販路拡大を目的に「JA阿蘇ブランド推進協議会」を設立しました。設立総会では、生産者や流通・販売を担う会員事業者（米穀事業者・青果物卸業者）などの関係機関が一体となり「阿蘇ブランド」の確立と浸透を目指す新たな体制を整えました。

阿蘇地域は、世界最大級のカルデラと広大な草原を有し、世界農業遺産（GIAHS）にも認定された国内有数の農業地帯。これまで豊かな自然環境と共生しながら、多様な高品質な農畜産物を生産し、消費者へ届けてきました。

しかし、近年は生産コストや燃料費の高騰、担い手不足、消費ニーズの多様化などで、農業を取り巻く環境は一層厳しさを増しています。

こうした課題を乗り越え、持続可能な農業を実現するためには「良いものを作る」だけでなく、差別化された価値の創出と発信力を備えたブランド戦略が不可欠とされています。

同協議会は「作る・支える・届ける」の各段階が連携し、統一コンセプトの策定やプライベート阿蘇ブランド認定基準の策定づくりを進め、阿蘇の風土や歴史、技術を生かした付加価値の高い商品づくりに取り組み、市場における優位性の確保を目指します。

また、デジタルマーケティングや販促イベントを通じた効果的なプロモーションを展開し、県内外での認知度向上を目指すほか、首都圏や海外市場への販路開拓にも積極的に取り組み、加えて、品質管理体制の強化や観光・商工・行政と連携した地域全体の魅力発信を進め「阿蘇」ブランドのイメージ向上につなげる計画です。

原山寅雄組合長は挨拶で「生産者が誇りと自信を持って農業に取り組める環境を整え、次世代の担い手確保にもつなげていく。地域全体でブランドを育て、持続可能な阿蘇農業の実現を図りたい」と意気込みを述べました。

今回の設立を契機に、JA阿蘇はさらに生産者所得の向上や担い手の確保・育成を図り、阿蘇農業の持続的発展と地域活性化につなげていく方針です。（写真上＝JA阿蘇ブランド推進協議会設立総会の様子）

熊本農業を牽引する優れた農業者を称える「第66回熊本県農業コンクール大会」 JA阿蘇管内より3生産者と1団体を表彰



受賞した方々=左から松岡さん夫妻、下村さん夫妻、佐藤由孝さん、小国町社会福祉協議会の佐藤旨人さんと関係者

令和8年1月29日、ホテル熊本テ
ルサで第66回熊本県農業コンクール
大会表彰式が開催されました。

表彰式では経営体部門で下村委也
さん・千絵さん夫妻(阿蘇市)、新人王部
門で松岡祐輝さん・明日香さん夫妻
(南阿蘇村)、地域農力部門とグリーン農
業賞で社会福祉法人小国町社会福祉協
議会(佐藤旨人会長)、地域貢献賞で佐藤
由孝さん(小国町)が表彰されました。

受賞者と取り組み

◆経営体部門『優良賞』

下村委也さん・千絵さん夫妻

単棟ハウス29棟を1カ所に団地化
することで合理的な作業管理が可能
となり、夏秋トマトの高い反収の維
持と計画的な規模拡大を両立。地域の
担い手として水田作も行い、自動操舵
トラクター、ドローン等の導入やフレ
コンパックでの出荷による省力化と効
率化を追求。離農農地を積極的に引き
受け地域農業の維持に貢献している。

◆新人王部門『優良賞』

松岡祐輝さん・明日香さん夫妻

他産業従事後、起業の夢をかなえ
るため、明日香さんのルーツである
南阿蘇村へ移住して新規参入。就農
4年目から新たな農業師匠との交流

により飛躍的に反収を向上し、生産部
会トップの実績。生産部会内に青年部
を立ち上げるなど、生産部会全体の収
量向上の取り組みも牽引している。

◆地域農力部門『優良賞』

◆グリーン農業賞

社会福祉法人小国町社会福祉協議会
(佐藤旨人会長)

耕作放棄地を活用した六次産業化
プロジェクトの契機に農業に参入し、
障がい者の働く場を創出。希少大豆
を栽培し、堆肥の活用による無化学
肥料・減農薬栽培を実践。大豆加工
品を農福連携レストランや直売所で
販売するほか、高齢者への配食サー
ビスにも使用。耕作放棄地を受け入
れ、一部観光農園化し保育園児の収
穫体験なども実施している。

◆地域貢献賞

佐藤由孝さん

様々な組織のリーダーとして地域
農業の維持・発展に寄与。主力の大根
部会では部会長などを歴任し、部会全
体で大根洗浄機を導入し、作業効率や
品質向上に取り組み、ダイコン産地と
しての生産基盤確立に貢献。また、専
用袋による青果販売や加工用出荷など
の新たな所得向上対策に加え、部会活
動における女性参画を推進している。



**第59回熊本県野菜振興大会
野菜園芸功労者として
室 治夫さん(阿蘇市)
志賀泰次さん(産山村)を表彰**

野菜園芸功労者表彰を受ける志賀泰次さん(写真左)と室治夫さん

熊本県や県内市町村・JAグループ熊本などで構成する一般社団法人熊本県野菜振興協会は2月6日、熊本市のホテル熊本テルサで「第59回熊本県野菜振興大会」を開催しました。

大会には県内の野菜生産者をはじめ、JA・行政・市場・輸送関係者らが一堂に会し、地域や組織の枠を超えた連携による生産力・販売力の強化を誓いました。

本大会は、県野菜振興のための課題認識と意識統一を図ることを目的に2年に1回開かれており、1960年から続く歴史と実績ある催事です。

大会では主催者挨拶や来賓祝辞に続き、熊本県の野菜振興に貢献した個人・団体への表彰が行われました。

JA阿蘇管内からは、野菜園芸功労者として阿蘇市の室治夫さんと産山村の志賀泰次さんが表彰を受け、長年の功績を称えられました。

式典後は優良事例の発表、専門家による基調講演が行われ、参加者は最新の情報に熱心に耳を傾けていました。

大会の最後は生産者による力強い決意表明と大会宣言が採択され、参加者全員による「がんばろう三唱」で、熊本県産野菜のさらなる発展と産地強化に向けた一致団結を誓い合いました。

**JA植木まつり開催50回を記念
植木まつり発展に寄与した
功績で藤川造園さんを表彰**



ひと足早い「春の訪れ」を感じさせる「第50回JA植木まつり」が1月24日から2月23日まで熊本県農業公園(カントリーパーク)で開催されました。

約6千坪の会場に庭木をはじめ、花鉢・苗木・庭園・地域自慢の特産物などが勢ぞろいし、お求めやすい価格で販売され、栽培のポイントを直接聞くことができるなど「生産者直売」ならではの特典がいっぱいでした。

JA阿蘇から参加した5軒の生産者も直接説明しながら販売を行いました。

初日の24日には、原山寅雄組合長の挨拶があり、生産者に向けて熱い激励のメッセージが送られました。

また、開催の節目となる第50回を記念し、第1回から出展し続け、植木まつりの発展に寄与した功績により、藤川造園さんに表彰状が贈られました。



写真上||表彰を受けた藤川造園
写真左||原山組合長激励の様子





「青年部における農政活動とは…」
JA阿蘇青壮年部がJA上川青年部
協議会を訪問ディスカッション



JA阿蘇青壮年部とJA上川青年部協議会盟友の皆さん

JA阿蘇青壮年部は1月21日、北海道を訪れJA上川青年部協議会と合同で「青年部活動における農政活動への携わり方」と題してグループディスカッションを開催しました。

同上川青年部協議会とは2000年5月に相互交流を開始以来、営農技術の向上や農政への提言力を高めていく

ことを目的に全国初の友好締結を交わし、今年で26年目を迎えました。

当日は両JAから27名が参加し、農政に関わる青年部活動の意義や、農業現場での課題解決に向けた取り組み事例発表が行われました。

参加者からは「二人個人での要望や意見は通りにくい。青年部団体として一致団結し、現場の意見を農政に届けることが大事」との意見が述べられ、また双方の青年部も昨今の農業情勢を把握し、要望だけではなく自ら行動することが必要だとの認識で一致しました。

両組織は昨年2月に参議院会館を訪問し、双方選出の国会議員へ「持続的な農業・農村の実現に向けた要請書」を提出しており、本年2月に開催された第72回JA全国青年大会時にも再度訪問し、要請書に対する進捗状況を確認しました。



写真(上) = JA上川青年部協議会とのディスカッションの様子 / 写真(下) JA阿蘇青壮年部盟友の皆さん

「スマート農業」普及・推進に重点
第6回アグリノベーション開催

JA阿蘇は第6回アグリノベーションを開催しました。

展示会は1月23・24日に南部会場(白水ライスセンター)、1月30・31日に中北部会場(米倉庫 米夢)の2会場で開催されました。

展示会では、各メーカーの主要農業機械を実際に見て・触れて・体感してもらうことを目的としており、加えてAIやIoTなどの先端技術を活用した「スマート農業」の普及・推進にも重点を置いた内容となりました。

会場では、作業効率の向上や省力化を実現する最新機種の展示に加え、データ活用による営農支援システムなども紹介され、多くの来場者が関



写真(右) = アグリノベーション開会式の様子 / 写真(上・下) 会場で展示されたトラクターや最新の農業機器やツール



心を寄せていました。来場者からは「将来の農業経営の参考になる」といった声が聞かれ、盛況のうちに両会場とも終了しました。

阿蘇地域集落営農連絡会会員 ジェイカムアグリ黒崎工場と 農事組合法人富久を視察研修



阿蘇地域集落営農連絡会は2月3・4日、県外視察研修を行いました。同研修には管内農業生産法人の代表者ほか、熊本県農業公社・阿蘇地域振興局・JA熊本経済連・JA阿蘇担当職員計16名が参加しました。

近年の離農者の増加や米価格の上昇に伴い、地域担い手における受託面積は年々増加しています。その反

動として、担い手の作業効率や労働力軽減が課題となっています。

今回は先ず福岡県の農事組合法人富久を視察しました。同法人では以前から労働力の軽減が課題となっており、数年前より水稲栽培における乾田直播を取り入れています。

研修会では、害虫対策を目的とした種子コーティングや耕起・播種・鎮圧を一連化した播種作業の技術を学びました。

営農連絡会の佐瀬見真一会長は「阿蘇地域でも課題となっていることが、この法人（富久）では解決されている。今回学んだ技術を持ち帰って阿蘇でも



写真右上＝ジェイカムアグリ黒崎工場を視察した連絡会会員
写真上＝富久で乾田直播取り組みの説明を受ける連絡会会員

令和7年度農機実販推進運動成果大会 JA阿蘇各部門で健闘！



令和7年度農機実販推進運動成果大会の表彰式が行われ、4月から10月の実販推進運動、11月から12月の初荷推進運動で農機販売、修理技術の実績上位者が表彰されました。

実践し、さらにより良い農業経営を目指していきたい」と話していました。

また、研修初日には北九州市にある(株)ジェイカムアグリ黒崎工場を視察。同工場では水稲肥料の製造現場を見学したほか、乾田直播専用肥料の説明や使用方法について学びました。

JA阿蘇からは修理サービス部門のセンター賞で一宮農機センターが1位、阿蘇町農機センターが2位に入賞しました。

個人表彰では修理サービス部門で馬原幸男さん（阿蘇町農機センター）が1位を受賞。さらに推進部門では井野敬介センター長（阿蘇町農機センター）が2位に入賞するなど、JA阿蘇は各部門で健闘しました。

JA阿蘇の長野農機センター統括は「農機販売については米価格高騰の影響もあり、順調に販売することができた。また、修理サービスについても修理サービスを導入したことなど、地道な営業活動により点検数増加につながった」と語り、今後とも地域農業を支える取り組みを続けていきたいと抱負を語っていました。（写真上＝令和7年度農機実販推進運動成果大会で表彰されたJA阿蘇スタッフの皆さん）





UAEからJA阿蘇へ イチゴ栽培現場とパックセンター視察 「香りが非常に高く、大粒で風味も最高」



パックセンターの視察では、ハートパックや一粒パック、贈答用の化粧箱など複数のアイテムを念入りに確認。用途に合わせた多彩なパックングなどを高く評価し、その場で具体的な発注に向けた商談がまとまる見通しとなりました。

JA阿蘇いちご部会では近年、海外輸出への取り組みを大幅に強化しており、県やJA熊本経済連・JAなどが農水省の「農林水産物・食品輸出プロジェクト（GF

P）」を積極的に活用。

2023年11月からは、これまで販路がなかったUAE向けに青果物の新規開拓を進めてきました。

阿蘇のイチゴは国内においても玉質や品質の良さが高く評価されており、その品質は海を越えUAEの五つ星ホテルや高級日本食レストランへの出荷を実現し、世界最高峰の市場においても阿蘇のイチゴが十分に通用することを証明する形となりました。

視察に立ち会ったJAの指導員は「玉質や品質の良さを世界でも維持できるよう、徹底した肥培管理と選果

小城拓巳さん 「さつまいも・オブ・ザ・イヤー」受賞 殿堂入りを目指す西原甘諸部会



体制を構築してきた。今回の視察で阿蘇のイチゴが持つ豊かな風味や美しい形状が、海外のプロの目にも高く評価されたことは大きな自信になる」と語っていました。

今回の視察を受け、阿蘇のイチゴは今後も中東市場をはじめとする世界の富裕層に向けた輸出拡大が期待されており、地域農業の新たな可能性を示すモデルケースとして注目を集めています。（写真上〓阿蘇イチゴの品質を確認する最高責任者たち）

西原甘諸部会の小城拓巳さんが2月11日から15日まで千葉市の幕張メッセで開かれた「日本さつまいもサミット」で「さつまいも・オブ・ザ・イヤー2025-2026」（品種・シルクスイート）を受賞しました。

同サミットは2019年からスタート。全国の生産者から応募を募り、書類審査や実際のサツマイモを用いた食味審査を経て優れた生産者や品質を選出するものです。毎年、全国から多くの生産者が参加し、サツマイモの品質や栽培技術を競う中、西原甘諸部会からは3年連続の受賞となりました。

受賞した小城拓巳さんは「部会から3年連続の受賞となり、部会員みんなで良いものを作ろうとする意識の高さを知ってもらうことが出来た。今後はもつと全国の方に西原村産サツマイモをアピール出来るように、栽培管理に力を入れ、殿堂入りとなる3年連続受賞も目指したい」と喜びと決意を語っていました。

担当指導員は「今後も品質向上に繋げるため、高温対策や病害虫防除を徹底するよう指導し、西原村産サツマイモの魅力を広くさらに発信していきたい」と抱負を話していました。（写真上〓受賞を喜ぶ小城さんご家族、左から小城早苗さん・小城拓巳さん・小城一也さん）

日本の文化やルール学ぶ研修会 実習生約100名が参加

Ⅱ JA阿蘇女性部 Ⅱ



J A阿蘇女性部は2月13日、一の宮中央支所で管内の特定外国人や外国人技能実習生を対象とした研修会を開きました。研修会にはカンボジアからの実習生約100名が参加しました。

実習生を受け入れる農家から「日本の生活やルールについて講習会を開いてほしい」との要望があり、研修会では、食中毒予防や共同利用している宿舍の清掃・ゴミ出しのルールなどについて説明が行われました。実習生は熱心に耳を傾けていました。研修会後は、お楽しみ抽選会も行われ、会場は大いに盛り上がりました。

同研修会は今回で9回目となり、

これまで女性部役員との調理実習や、日本の気候を学ぶ研修、ゴミの分別方法や生活用品の使い方など多岐にわたる内容を実施してきました。

参加した実習生は「日本の文化やルールを知ることが出来た」「女性部員や同じ実習生と交流できて嬉しかった」などの感想をもらっていました。

女性部担当の堀川美紀職員は「日本の文化やルールを知ってもらおうことで、食文化や生活に慣れてもらいたい。今後も実習生が楽しみながら学べる機会づくりに取り組みたい」と抱負を語っていました。



写真右上＝研修会後のお楽しみ抽選会の様子
写真上＝研修会に参加した実習生の皆さん

ダンボール製造工場を訪問 連携の体制づくりや商品知識を共有

Ⅱ 購買部・購買店舗役員 Ⅱ



ダンボールの製造工程について説明を受ける役職員

J A阿蘇購買部は2月6日、熊本県内のダンボール工場を訪問し、視察研修を行いました。

当日は本所購買部と各購買店舗の役員がダンボールの製造工程を見学。工場のスタッフから原材料の投入から成形・加工・仕上げに至るまでの一連の流れについて説明を受けました。

視察後、意見交換の場で本所と購買店舗の連携体制をはじめ、商品知識の共有、今後の市場動向や業界情勢など、多岐にわたる内容について意見を交換。双方にとって有意義な視察研修となりました。

視察した職員は「製造現場への理解をより一層深めるとともに、今後の連携強化に向けた課題と方向性を共有する機会となった」と話していました。

J A阿蘇は今回の学びを今後の業務に活かし、より高い付加価値を提供できる体制づくりを進めていく方針です。



製造工程の一連の流れの説明を受ける役職員



工場視察後の意見交換会

地域活動で活かそう「あそっ娘」☆短期大学、学びやつながり!



2025年度「あそっ娘」短期大学、閉校式
最後の授業は「ハンドメイド教室」
卒業記念に「色鮮やかなハーバリウム作製」

3月18日、第12期生となる2025年度あそっ娘短期大学の閉校式が行われました。

式には卒業生やJA関係者ら約40人が出席しました。あそっ娘☆短期大学はJA阿蘇女性部が主催し、2025年度はバッククッキングによる防災調理の実践やAコープ商品の特徴や活用を学ぶ講座、親睦を深めるカローリング大会など多彩なカリキュラムを実施してきました。

閉校式当日には最後の研修としてハンドメイド教室が開かれ、JA鹿本フレッシュミズ代表の林田泰穂さんが講師となって、色鮮やかなハーバリウムを卒業記念として作製しました。

閉校式では原山寅雄組合長から修了証が手渡され、受講生は達成感に満ちた表情を見せていました。受講生からは「日々の暮らしに役立つ内容ばかりで充実していた」「仲間と学ぶ楽しさを実感できた」などの感想が寄せられました。

女性部担当の堀川美紀職員は「あそっ娘☆短期大学での学びやつながりを今後の地域活動に活かしてほしい」と話していました。(写真＝あそっ娘☆短期大学の卒業生・関係者／卒業記念を作製するあそっ娘の皆さん)



生産各部会の総会・反省会・出荷・イベントなどの情報①

小国小の3年生が駒打ち体験 Ⅱ小国郷生しいたけ部会Ⅱ

原木生シイタケ産地として知られる小国町で2月12日、小国郷生しいたけ部会が小国小3年生49人を対象に駒打ち体験の授業を行いました。



同校では「小国学」という授業で小国町について学んでおり、授業の一環として町の特産物である原木生シイタケについて深掘し学習を行いました。駒打ち体験の前に、JA阿蘇営農指導員の木下翔太職員が菌床シイタケと原木シイタケの違いや、シイタケパックが自分たち（消費者）の手元に届くまでの仕組み、栽培工程、生産者の工夫や努力について講義を行いました。

駒打ちは直径15cm、長さ1m程に切り分けたクヌギの原木に、穴を35個前後開け、児童らは金づちで一つ一つ丁寧に駒を打ち込みました。

小国郷生しいたけ部会の松野英一部会長は「子どもたちの楽しそうな声を聞くと自分たちもやる気が出る。これから春子の出荷が始まるので美味しいシイタケをたくさんの方に食べてもらいたい」と笑顔で話していました。

参加した小学生らは「原木が重くて運ぶのが大変だったが、駒打ちが楽しかった。早く収穫したい。穴がたくさんあって駒打ちがたくさんできてよかった」と話していました。

（写真上Ⅱ駒打ちをする小学生）



消費宣伝や食育活動を兼ね 福岡市の小学生や校区住民と交流



小国郷生しいたけ部会は2月21日、福岡市立石丸小学校で原木シイタケの駒打ち体験会を開きました。体験会には同校の3年生約100人、校区住民約100人が参加しました。

体験会では先ず部会員がシイタケの生産過程や菌床シイタケとの違い、駒打ちの仕方などを説明。参加者は直径15cm、長さ1mほどの原木に約35個の穴を開け「コン、コン、コン」と金づちの音を響かせながら駒を打ち込みました。

参加者らは「シイタケ栽培がこんなに大変だとは思わなかった。原木シイタケのオーナーになった」、「1年半後の10月の収穫祭が楽しみだ。早く自分の原木のシイタケを食べたい」などと感想を述べていました。

松野英一部会長は「出荷を行っていきる福岡の販売先での消費宣伝や食

育活動は大切だ。石丸校区での活動は定着しつつあるが、知らない人もまだまだ多いので今後もこの活動を部会として続けていきたい」と話していました。

体験会後は原木シイタケの試食や生シイタケパックをプレゼントして原木シイタケのPRを行いました。



駒打ち体験会には親子連れなど大勢の人々が参加して大きな盛り上がりを見せた。

生産各部会の総会・反省会・出荷・イベントなどの情報②

3月下旬まで潤沢な出荷見込み
いちご部会現地検討会

J A阿蘇いちご部会は2月4日、中部と南部の2地区で現地検討会を開きました。当日は部会員や関係者らが出席し、年内の販売実績報告や生育状況を確認しました。

検討会では、春先の気温上昇に伴い病害虫の発生リスクが高まることから、早期発見に努めることや薬剤抵抗性に配慮した効率的な防除ローテーションの徹底を呼びかけました。

現在（取材時）の生育状況について営農指導員は「1月下旬からの低温傾向により、果実の肥大自体は良好だった。2番果の出荷も順調で販売促進活動などのピークに合わせられている。また、多くの圃場で3番花の連続出蕾が確認されており、3月下旬までは潤沢な出荷を見込んでいます」と今後の見通しを語りました。

検討会には県振興局からも参加があり、春先へ向けた適切な温度管理や、安定した収穫を維持するための草勢管理についても指導が行われ、部会員らは熱心に耳を傾けていました。

現地検討会は、最盛期後半に向けた高品質なイチゴの安定供給と、さらなる販売実績の積み上げに向けて決意を新たにする機会となりました。（写真上）いちご部会現地検討会の様子

役員全戸圃場巡回で

春先の品質維持を徹底

いちご部会は3月5・6日、全戸圃場巡回を実施しました。

巡回は春先の品質維持と安定出荷を目的に行われ、部会役員や阿蘇地域振興局職員、営農指導員が圃場を巡回しました。そして、気温の上昇や収穫量の増加に伴い、品質低下が発生しやすい時期を迎える中、各圃場の管理状況の確認と個別指導を行いました。

圃場では重点的に葉よけ・花出し作業の実施状況や収穫時の着色基準、株の草勢、着果状況、果実品質を確認しました。

巡回の結果、全体的に良好な生育状況でありましたが、一部に「灰色カビ病」の発生が確認されたため、徹底した防除を呼びかけました。

園田賢臣部会長は「作業の遅れや品質不良が確認された場合には、地区役員や営農指導員による巡回指導を継続し、産地全体での高品質なイチゴの安定供給に努めていく」と巡回の目的を話し、江藤秀晃指導員は「春先は気温上昇により品質管理が極めて重要になる時期。良好な草勢の維持と品質確保に向け、基本管理を継続して実施してほしい」とアドバイスしていました。

J A阿蘇は今後も、販売担当者とリアルタイムで圃場状況を共有し、荷造り時のチェック態勢の強化を図り、市場や消費者への信頼向上に繋げていく方針です。



写真：部会役員による圃場視察の様子

販売額9億6000万円めざす
アスパラ部会出荷査定会

J A阿蘇アスパラ部会は3月3日、阿蘇市で令和8年産の出荷査定会を開きました。

査定会にはJ A役員や取引市場関係者、部会員など約90名が参加し、市場情勢報告や販売計画、出荷規格などを協議しました。

原山寅雄組合長は挨拶で「トップセールスを通して、更なるブランド力向上と販売力強化を図っていききたい」と

※次ページに続く

生産各部会の総会・反省会・出荷・イベントなどの情報③

※前ページより続く

決意を述べました。

同部会は令和8年産計画を生産者95名(前年同比)、収穫面積31・2ha(同97%)、出荷量800t(同117%)、販売金額9億6000万円と大きな目標を掲げています。

令和8年産の出荷前概況は、昨秋季から黄化が良好に進み冬季も5度以下の日が多く、十分な休眠となったことで春芽は昨年より増収すると予想され、3月中旬から本格的な出荷が始まり、3月下旬から4月中旬頃出荷ピークとなる見込みです。

同部会では反収前年比10%アップや消費地との情報交換強化を基本方針に掲げ、生産者一丸となって更なる出荷量・品質向上に取り組み計画です。
(前ページ写真⇨挨拶する原山組会長)

**アスパラ香芽出荷ピーク迎える
出荷は4月中旬頃まで続く見込み**

熊本県内有数のアスパラガス生産地であるJA阿蘇管内では(3月中旬取材時)春芽アスパラガスの出荷がピークを迎えています。

阿蘇市一の宮町の選果場には連日、収穫された新鮮なアスパラガスが次々と持ち込まれ、職員らが長さや太さを確認しながら丁寧に選別・箱詰め作業を進めています。

出荷は九州を中心に関東や関西の市場にも送り出され、消費地から高い評価を得ています。

今年産は鮮やかな緑色と柔らかな食感が特徴の良質なアスパラガスに仕上がっています。

穴井敬大指導員は「昨年に比べると太物階級が多い傾向にあり、秀品率・品質ともに良好なので自信を持って販売に努めています」と話しています。

出荷は4月中旬頃まで続く見込みで、生産者は品質管理を徹底しながら安定出荷に努めています。(写真左⇨1本1本丁寧に選果される新鮮なアスパラガス)



表紙で紹介のアスパラガス生産者 山本 海登さん

高校の同級生 松田優也さんと支え合い 阿蘇の農業を盛り上げる!

県内有数のアスパラガス産地であるJA阿蘇管内で、春の味覚として親しまれている春芽アスパラガスの出荷が最盛期を迎えています。冷涼な気候と豊かな水に恵まれた阿蘇はみずみずしく、甘みのあるアスパラが育つ産地として人気を集めています。

阿蘇市の山本海登さん(27)は、品質の高いアスパラづくりに励んでいます。山本さんはJA阿蘇が阿蘇地域振興局から委託され、県認定機関の就農支援NPOや各7市町村と連携し、就農希望者と農業師匠とのマッチングを独自に行う「農業師匠制度」を活用。就農希望者に必要な技術や知識を指導する農業師匠の下で2年間研修し、2021年3月独立、今年で6年目を迎えました。現在約30.5aのハウスでアスパラガスを栽培していますが、1人での作業や今後の規模拡大に不安を感じていました。そこで支えとなったのが同じ阿蘇市で夏秋大玉トマトを栽培している松田優也さんでした。2人は高校の同級生で、それぞれの作業が忙しい時期を助け合っています。現在は山本さんが増設するハウス建設を手伝っています。お互い自分でハウスを建てたことがないため、楽しみながら建設をしているそうです。

山本さんは「松田さんの支えがあって、作業の効率化・規模拡大に繋がっている」と話し、一方の松田さんも「お互い助け合って、阿蘇の農業を盛り上げていきたい」と今後の目標を語っています。

アスパラガスの収穫は早朝から始まり、ハウス内を丁寧に回りながら1本1本手作業で刈り取ります。アスパラガスは生育が早く、わずか1日で大きく伸びるため、収穫のタイミングが品質を左右する重要な作業だと言います。

山本さんは「消費者に新鮮でおいしい阿蘇のアスパラガスを届けたい」と、土壌分析や施肥設計など細やかな栽培管理を徹底しています。収穫されたアスパラはJA阿蘇の選果場に持ち込まれ、選別・箱詰めされた後、九州を中心に関東や関西の市場へ出荷されています。山本さんは「手間はかかるが、その分やりがいも大きい。多くの人に阿蘇のアスパラガスのおいしさを味わってほしい」と笑顔で語り、これからも品質の高いアスパラガスづくりに取り組み、産地の発展につなげていきたいと抱負を語っていました。(写真上=ハウスで作業をする山本海登さん)



♡ よろしくお願いたします♡ 令和8年度 新入組職員紹介



いで かすみ
井手 佳寿美

出身地：阿蘇市

趣味：ゲーム・動画鑑賞・散歩

抱負：粉骨砕身の精神で日々努力していきます。



にしむら ゆうせい
西村 有生

出身地：阿蘇市

趣味：ゲーム・友達と遊ぶこと

抱負：地域の皆さんとコミュニケーションを取っていき、阿蘇をもっと元気になりたいです。また、職場の皆さんと楽しく明るく仕事をしていきたいです。



はた さとる
羽田 悟

出身地：南阿蘇村

趣味：ゲーム・世界史

抱負：地元の農業と生活を支えていくと共に、自分自身も農業に関わる人間として成長し、農業を引っ張っていく存在になりたいです。



たむら わく
田村 湧空

出身地：阿蘇市

趣味：映画やドラマ鑑賞、マンガ

抱負：組合員さんのコミュニケーションを大事にし、阿蘇の発展に少しでも貢献できるように日々の業務に取り組んでいきます。

新入職員内示名簿 (令和8年4月1日)

氏名	内示
羽田 悟	阿蘇南中央支所購買課購買係 (グリーンなんごう)
西村 有生	営農部中部営農センター園芸課園芸係
田村 湧空	一の宮中央支所購買課購買係 (一の宮グリーン)
井手佳寿美	一の宮中央支所金融課金融係

JA阿蘇互助会ボウリング大会 開催

本支所・部署を越えた交流の輪が広がる!

1月24日、職員相互の親睦と交流を深めることを目的に「JA阿蘇互助会ボウリング大会」を開催しました。当日は役職員約100名が参加し、会場は笑顔と歓声に包まれました。久しぶりにボウルを手にする職員も多く、最初は緊張した様子も見られましたが、ストライクやスペアが出るたびに拍手が起こり、自然と本支所・部署を越えた交流の輪が広がっていきました。

互いに声を掛け合いながらプレーする姿が印象的で、和やかな雰囲気の中にも真剣勝負の場面があり、大いに盛り上がる大会となりました。

今回の交流を通して深まった繋がりを、今後の業務に活かして参ります。



JA阿蘇職員異動のお知らせ① (令和8年4月1日発令)

氏名	新 辞 令	旧 辞 令
佐藤 順紀	金融共済部長	金融部長
藤本 明大	西原支所長	審査・債権対策室長
中島 隆文	一の宮中央支所長	一の宮中央支所金融課長
宮川 己則	営農部中部営農センター農産課農産係兼地域農業再生協議会担当(産山駐在)(中央支所長待遇)	一の宮中央支所長
松岡 勝也	購買部次長兼購買課長	購買部購買課長
下田 智裕	監査室長(次長待遇)	総務部経理課長
小島 一夫	購買部JA阿蘇農機車輛センター統括	購買部JA阿蘇車輛センター統括(阿蘇町駐在)
秋吉 武臣	金融共済部統括課長兼共済普及課長兼共済推進トレーナー	金融部資産推進課長
阿部 ルミ	金融共済部金融融資推進課長	金融部融資推進課長
金丸 美和	小国郷中央支所金融課長	小国郷中央支所共済課長
山内美奈子	金融共済部金融資産推進課長	阿蘇町中央支所金融課長
中川 慎一	総務部リスク管理課長	共済部普及課長兼共済推進トレーナー
田代 勝	総務部経理課長	阿蘇南中央支所購買課長(グリーンなんごう店長)
井手 友和	一の宮中央支所金融課長	一の宮中央支所購買課長(一の宮グリーン)
原部真寿美	小国郷中央支所金融課長代理	小国郷中央支所共済課LA係
瀬井 真美	営農部南部営農センター農産課農産係兼畜産課畜産係兼南部地区女性部統括	営農部南部営農センター農産課農産係兼畜産課畜産係兼女性部係
小島 多美	営農部精算課精算係	営農部精算課長
高橋なるみ	一の宮中央支所共済課長	一の宮中央支所共済課共済係
中嶋しおみ	金融共済部共済保全課長	共済部保全課保全係長兼共済事務インストラクター
鎌倉 柳二	阿蘇町中央支所金融課長	阿蘇町中央支所金融課長代理兼融資係(融資専任涉外担当)
出口 創平	小国郷中央支所共済課長	営農部小国郷営農センター直販事業課長
長野 哲也	購買部JA阿蘇農機センター長(阿蘇町駐在)	購買部JA阿蘇農機センター統括(阿蘇町駐在)兼高森支所JA阿蘇農機センター長
佐竹 寛伸	阿蘇南中央支所購買課長(グリーンなんごう店長)	阿蘇南中央支所購買課長代理(グリーンなんごう)
井 達子	西原支所長代理兼金融共済係兼女性部係	西原支所長代理兼金融共済係
宅野 幸大	阿蘇町中央支所金融課長代理兼融資係(中部地区・北部地区融資専任涉外担当)	小国郷中央支所金融課金融係長(北部地区・中部地区融資専任涉外担当)
山本 孝子	金融共済部共済保全課保全係	共済部保全課長代理
酒井ゆかり	阿蘇南中央支所共済課共済係	西原支所金融共済係兼女性部係
橋本 潤一	小国郷中央支所金融課金融係	営農部小国郷営農センター直販事業課営業係長
井川 美香	阿蘇町中央支所共済課共済係	共済部保全課保全係兼共済事務インストラクター
姫野 活昭	営農部南部営農センター農産課農産係兼園芸課園芸係	営農部南部営農センター農産課農産係兼蘇陽青壮年部担当
伊藤あずさ	金融共済部共済普及課共済推進トレーナー	共済部普及課共済推進トレーナー
岩下 龍二	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)兼中部LPガスセンター長	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)兼中部LPガスセンター長
小林 千春	金融共済部金融資産推進課資産推進係	金融部資産推進課資産推進係
下村 実加	小国郷中央支所共済課LA係	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(品質管理)
片倉 洋平	金融共済部金融融資推進課融資推進係	金融部融資推進課融資推進係
下田麻奈美	金融共済部金融資産推進課資産推進係	金融部資産推進課資産推進係
室 富美幸	一の宮中央支所購買課長(一の宮グリーン)	一の宮中央支所共済課長
梶原 治美	営農部精算課長	営農部精算課精算係

JA阿蘇職員異動のお知らせ② (令和8年4月1日発令)

氏名	新 辞 令	旧 辞 令
河原 浩	阿蘇町中央支所購買課阿蘇町給油所長兼北部LPガスセンター主任	阿蘇町中央支所購買課阿蘇町給油所長
小嶋 幸俊	阿蘇町中央支所共済課LA係	購買部購買課購買係
宮崎 和美	金融共済部共済保全課保全係兼共済事務インストラクター	阿蘇町中央支所共済課LA係
甲斐 亮太	営農部南部営農センター園芸課指導販売主任兼青壮年部担当	営農部南部営農センター園芸課指導販売係兼青壮年部担当
渡邊 雄大	小国郷中央支所共済課LA係	営農部園芸課特販係
上島 由香	阿蘇町中央支所共済課LA係	阿蘇町中央支所金融課金融係兼LPC担当
野口 梨沙	金融共済部共済保全課保全係兼共済事務インストラクター	共済部保全課保全係兼共済事務インストラクター
伊藤 豊	営農部園芸課特販係	小国郷中央支所共済課LAチーフ
井野 敬介	阿蘇町中央支所JA阿蘇農機センター係(センター長待遇)	阿蘇町中央支所JA阿蘇農機センター長
井 早苗	一の宮中央支所共済課共済係	一の宮中央支所共済課LA係
高宮 真悟	営農部南部営農センター畜産課畜産係兼農産課農産係	阿蘇南中央支所共済課南部地区(Aブロック)LA係
中村 千春	小国郷中央支所金融課金融係兼LPC担当	小国郷中央支所金融課金融係
浅久野美雪	総務部総務人事課総務人事係	阿蘇町中央支所共済課LA係
古澤 秀樹	購買部付経済連阿蘇中部物流センター出向	高森支所金融共済課金融共済係
友岡 康博	阿蘇南中央支所共済課南部地区(Aブロック)LA係	営農部南部営農センター畜産課主任
濱崎 翔大	金融共済部共済保全課事故相談係	共済部保全課事故相談係
黒田 将司	営農部小国郷営農センター農産課農産係	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(ヨーグルト工場)
下谷 莉沙	阿蘇町中央支所金融課金融係兼LPC担当	小国郷中央支所金融課金融係兼LPC担当
藤吉 友也	営農部南部営農センター園芸課指導販売係兼農産課農産係	営農部南部営農センター園芸課指導販売係
清高 直樹	小国郷中央支所共済課LAチーフ	小国郷中央支所共済課LA係
渡邊 正代	阿蘇南中央支所共済課共済係兼女性部係	阿蘇南中央支所共済課共済係兼南部地区女性部統括
岩下 美和	高森支所金融共済課金融共済係兼女性部係	高森支所共済課南部地区(Bブロック)LA係
綿貫 純也	営農部小国郷営農センター(小国郷営農センター付)	営農部小国郷営農センター直販事業課牛乳工場・ヨーグルト工場統括係長
佐藤 稔	購買部購買課購買係	購買部付経済連阿蘇中部物流センター出向
佐藤 雅	高森支所共済課南部地区(Bブロック)LA係	営農部南部営農センター園芸課指導販売係
宇野 勝	営農部中部営農センター農産課カントリー係	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(牛乳工場)
河津 侑志	金融共済部共済保全課保全係兼共済事務インストラクター	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(牛乳工場)
吉田 結	小国郷中央支所共済課共済係	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(牛乳工場)
高村 涼	営農部小国郷営農センター(小国郷営農センター付)	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(牛乳工場)
河津 翔太	営農部小国郷営農センター(小国郷営農センター付)	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(牛乳工場)
西村 出海	一の宮中央支所購買課産山購買係(一の宮グリーン)	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(牛乳工場)
堤 優大	総務部リスク管理課リスク管理係	営農部中部営農センター園芸課園芸係
東 政則	小国郷中央支所購買課購買係	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(ヨーグルト工場)
山口 洋	一の宮中央支所購買課(一の宮グリーン)兼青壮年部担当	一の宮中央支所購買課産山購買係(一の宮グリーン)兼青壮年部担当
清塘 大悟	阿蘇町中央支所購買課購買係(グリーンショップやまびこ)	阿蘇町中央支所共済課共済係
宇都宮 悠	営農部小国郷営農センター畜産課畜産係	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(乳製品加工)
山本 祥子	一の宮中央支所共済課LA係	一の宮中央支所金融課金融係

JA阿蘇 イラスト違い探し「鯉のぼり」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。

探してみてください! (出題:イラストレーター みやた みゆき)



イラスト違い探し「鯉のぼり」応募方法

上のイラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。

正解者の中から抽選で4名様に

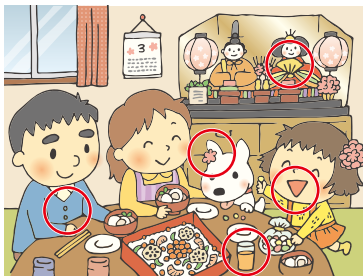
「アスパラガス1kgセット」(写真)をプレゼントします。

応募締め切りは令和8年5月15日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



前号「ひな祭り」答えとプレゼント(イチゴ恋みのり2パックセット)当選者5名様



阿蘇品桃禾 様 (阿蘇市)
 佐藤 泉 様 (阿蘇市)
 山口 諭一 様 (山都町)
 佐藤 悦子 様 (阿蘇市)
 中村とし子 様 (産山村)

＝答え＝

- ① お父さんのボタン
- ② 犬の耳の飾り
- ③ お雛さまの扇
- ④ 女の子の口
- ⑤ コップのジュース



ハガキ (表)

郵便番号 869-2612

阿蘇市一の宮町官地387-5
 JA阿蘇 総務部
 「JAあそだより」係

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号
 ●住所(番地までご記入ください)
 ●電話
 ●氏名
 ●年齢
 ●ご意見・ご要望
 (内容によっては誌面に取り上げさせていただきます)
 ●その他

理事会・監事会報告

■令和7年度第13回理事会

日時:令和8年2月26日午後1時30分

場所:一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 報告事項
 - 1月末実績について
 - 1) 貸出金について(案)

報告事項

- 1) JAバンクの内部管理態勢構築にかかる指針の変更について
 - 2) 令和7年度決算棚卸監事監査実施要領について
 - 3) 令和8年度監事監査計画書について
 - 4) 令和7年度決算棚卸休業について(金融部・購買部)
 - 5) 令和7年度アグリイノベーションフェア実績について
 - 6) 職員募集要領について
 - 7) 自主検査結果報告について(令和7年12月)
 - 8) JA阿蘇活動総合3カ年計画進捗状況について
(令和7年12月末)
4. 閉会

■令和7年度第14回理事会

日時:令和8年3月27日午後1時30分

場所:一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

委員会報告(総務専門委員会・経済専門委員会・金融共済専門委員会・債権管理委員会)

2月末実績について

- 1) 貸出金について(案)
- 2) 宅地等供給事業実施規程の改正について(案)
- 3) 令和8年度 余裕金運用方針及び
第1四半期余裕金運用方針について(案)
- 4) 令和8年度 貸付金利率の最高限度及び借入金の最高限度に
ついて(案)
- 5) 信用の供与等の限度について(案)
- 6) 令和8年度 小口ローン金利施策について(案)
- 7) 令和8年度 内部監査計画書について(案)
- 8) 令和8年度 役員報酬について(案)
- 9) 経済債権償却について(案)
- 10) 年度末賞与の支給について(案)

報告事項

- 1) 内牧機械化店舗の解体について
- 2) 令和8年度ATM更新計画について ↗

- 3) 窓口での特殊詐欺対策における警察通報基準の設定に
ついて
- 4) 効率化店舗等ガイドラインについて
- 5) 令和7年度導入家畜等棚卸監査報告書について
- 6) 内部統制システムに関する検証結果について
- 7) 蘇陽農機センター閉鎖について
- 8) 自主検査結果報告について(令和8年1月)
- 9) JA阿蘇ブランド推進協議会設立について
- 10) 令和8年度 定例理事会日程について

4. 閉会

■令和7年度第11回監事会

日時:令和8年2月18日午後1時～

場所:一の宮中央支所大会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1) 令和7年度上期決算監事監査回答書について
 - 2) 令和7年度導入家畜等棚卸監査報告書について(案)

報告事項

- ①常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ②令和7年度決算監事監査日程について
- ③第2回常勤理事との定例会議次第について
- ④令和8年度内部監査計画書について(案)
- ⑤行事予定について

4. 閉会

■令和7年度第12回監事会

日時:令和8年3月12日午後1時30分～

場所:本所2階第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題
 - 1) 令和7年度決算棚卸監査実施手続等(人員配置・実査場所)に
ついて
 - 2) 令和7年度内部統制システムに関する検証結果について
 - 3) みのり監査法人「令和8年度監査報酬見積書(仮)」について

報告事項

- ①常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ②令和8年度 監事会年間計画及び監事監査等計画について
- ③取適法(中小受託取引適正化法)の改正における内部手続きの
変更について
- ④行事予定について

4. 閉会

高額な現金出金・振込時の警察への通報について

令和8年4月1日
阿蘇農業協同組合

最近、様々な金融犯罪が発生し、その手法や手口も巧妙かつ高度になっております。

お客様が金融犯罪の被害に遭われることのないよう、当組合においては、熊本県警察本部からの指導により、お客様から高額な現金出金や振込のお申し出を受けた場合等は、職員からお声がけをさせていただくほか、警察への通報を行うことが求められています。

お客様の大切な資産を金融犯罪からお守りするための取組みですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

特殊詐欺被害防止に向けたATM利用限度額の変更のお知らせ

当組合では、社会的に深刻な問題となっている特殊詐欺の発生状況を受け、お客さまが安心してキャッシュカードなどをご利用いただけるよう、被害の発生・拡大を防ぐ対策に取り組んでおります。

このたび、ATMにおいてお客さまの貯金が不正に払い出される特殊詐欺の犯罪が増加していることを受けて、2026年4月1日に、キャッシュカードなどによる取引時の1日あたりの利用限度額を以下の通り引き下げいたします。

媒体種別	対象取引 *1)	変更前	変更後
ICキャッシュカード	IC取引	100万円	50万円 *2)
磁気ストライプ キャッシュカード、通帳	磁気取引	50万円	50万円

*1) ATM および窓口（ピンパッド）でのお引出し、振込等が対象となります。

*2) あらかじめ設定されている利用限度額から変更されている場合は変更対象外となります。

お客さまにはご不便をおかけいたしますが、警察庁からの要請も踏まえた対応であり、ご理解賜りたくお願いいたします。

農機具購入や設備投資などをお考えの方へ

JAバンクで 農業近代化資金

2026年度

事業実施期間 2026年4月1日(水) ~ 2027年3月31日(水)

対象となる方 熊本県農業信用基金協会をご利用いただける方



JAバンクでは農業者の皆さまのお借入負担を軽減するため、
農業近代化資金のお借入れにかかる金利を助成いたします。

「農林水産長期金融協会による利子助成」適用の場合

基準金利
(毎月変動します)

年**3.75%**

熊本県による
利子補給1.25%
適用後

年**2.50%**

実質金利負担

5年間の利子助成等が
受けられます

年**0%**

一般のお申込みの場合

基準金利
(毎月変動します)

年**3.75%**

熊本県による
利子補給1.25%
適用後

年**2.50%**

JAバンク利子
補給併用後

年**1.50%**

※ 農林水産長期金融協会による利子助成は上限2.0%、JAバンク利子補給は上限1%となっており予算に達し次第終了いたしますので、利子助成・利子補給が受けられない場合があります。
※ 借入当初に基準金利が利子助成率および利子補給率を上回る場合には、金利負担が発生します。また、お借入日より5年後以降は金利負担が増加します。

商品概要

【貸付対象者】 認定農業者、認定新規就農者、一定の要件を満たす農業者(集落営農組織を含む)、認定農業者となる計画を有する農業参入法人等	【貸付金額】 個人……………1,800万円以内 知事が特に必要と認めた場合……………2億円以内 法人、集落営農組織等……………2億円以内 農業参入法人……………1億5千万円以内
【資金使途】 ① 畜舎、果樹棚、農機具その他の農産物の生産、流通または加工に必要な施設の改良、造成、復旧または取得に必要な資金 ② 果樹、その他の永年性植物の植栽、育成に必要な資金 ③ 家畜の購入、育成に必要な資金 ④ 農地の小規模な造成、改良、復旧に必要な資金 ⑤ 農業経営の規模拡大、農業経営の改善に必要な長期運転資金	【担保】 原則不要 【保証】 原則、熊本県農業信用基金協会の保証を必要とする 【保証料】 0.13% ~ 0.36% 【利子助成・利子補給期間】 5年間 【利子助成率・利子補給率】 ・担い手経営発展支援金融対策助成事業「TPP枠」…最大2.0% ・農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業「目標地図枠」…最大2.0% ・JAバンク利子補給……………最大1.0%
【貸付期間】 最大15年、うち据置期間最大7年(資金使途に応じて異なります)	【返済方法】 毎年1月20日の年1回払い(休日の場合は翌営業日)

JAバンク熊本の主な利子補給対象資金

資金名	補給率(最大)	補給期間(最長)	備考
農業近代化資金	年 1.00%	5年	商品概要は左記の通り
21世紀農業フォローアップ資金	年 0.80%	3年	農業に関する様々な資金使途に対応可能 ※ 資金使途によっては対象外となる場合があります
JA農機ハウスローン	年 0.80%	3年	一定額までの農機具・ハウスに迅速に対応可能
農業経営改善促進資金(スーパーS資金)	年 0.80%	1年ごと	農業経営に関する運転資金 ※ 制度資金であり、予算に限りがあります
JA農業法人ローン	年 0.80%	1年ごと	農業経営に関する運転資金
農業資金団信(任意加入)	団信(団体信用生命保険)に加入して、死亡等の万一のリスクに備える ※ 団信に加入できる商品・資金使途には制限があります。詳しくは、JA窓口へご相談ください。		

●JAバンク利子補給は当初借入額100万円以上が対象です。●お申込みに際してはJA所定の審査があり、その結果によってはご希望に添えない場合があります。また、担保等を求める場合もあります。
●店頭にて返済額の試算を承っております。●JAへの出資をお願いする場合がございます。●土日祝日については、一部営業していない店舗があります。●詳しくは、店頭・HPの説明書または窓口にお問い合わせください。



■JA熊本市 096-372-6948 ■JAたまな 0968-72-5505 ■JA熊本 0968-41-5132 ■JA菊池 0968-23-3506 ■JA阿蘇 0967-22-6111 ■JAかみまき 096-234-1157 ■JA熊本ろき 0964-34-3317
■JAやつしろ 0965-35-6165 ■JAあじきた 0966-82-2516 ■JAくま 0966-38-1101 ■JA本道五和 0969-23-2231 ■JAあまぐさ 0969-22-1102 ■JAれいほく 0969-35-0600

令和8年度採用 JA阿蘇職員募集（一般）

1. 採用職種及び採用予定者数 一般総合職・・・・・・・・・・10名程度
2. 受験資格 昭和57年4月2日以降出生(44歳まで)で
高等学校卒業以上の学歴を有する者
3. 受験手続 提出書類
 - ア. 履歴書（JIS規格）1通（写真付）
 - イ. 写真（3×4cm）1枚（履歴書に貼付した写真と同じものとし、
 - ウ. 学校成績証明書 裏面に学校名・住所・氏名を記入）
 - エ. 卒業証明書又は卒業見込証明書

●ア～エの書類4点を下記担当まで提出下さい。
4. 試験日程・内容

【日時・場所】随時募集（応募に伴い、都度選考）

<選考>

【内容①】（※事前webテスト）基礎能力・適性検査

【内容②】面接試験
5. 待遇

応募の都度、採用時期を決定（3ヶ月の試用期間あり）

賞与／年2回支給 昇給／年1回（前年度実績）

給与／高校卒……173,760円～ 短大・専門卒……182,260円～

大学卒……200,830円～ 各種手当支給有(組合諸規定による)

阿蘇農業協同組合（JA阿蘇）総務部 総務人事課

住所：〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地 387-5

電話：0967-22-6111 FAX：0967-23-1088

E-mail：jaaso@jaaso.or.jp

採用担当：工藤・上田



左記のQRコードを読み取るかJA阿蘇ホームページ
<https://www.jaaso.or.jp/>にも掲載しています。
皆様のご応募を職員一同、心からお待ちしております。
何でもお気軽にお問い合わせ下さい。